



100th BANNAN



1922-2022 静岡県立磐田南高等学校 100年の歩み

- 1922年(大正11) 静岡県立見付中学校開校。
- 1926年(大正15) 生徒・教職員の勤労作業により防風堤・プール築造。
- 1932年(昭和7) 独立図書館開館(蔵書数県下一[当時])。卒業生の牧野正蔵、銀メダル獲得(ロサンゼルスオリンピック[水泳]1500m自由型)。
- 1936年(昭和11) 卒業生の寺田 登、牧野正蔵、杉浦重雄がメダル獲得(ベルリンオリンピック)。
●寺田 登([水泳]1500m自由型:金メダル) ●牧野正蔵([水泳]400m自由型:銅メダル) ●杉浦重雄([水泳]800mリレー:金メダル)
- 1947年(昭和22) 陸上競技部、インターミドル(全国中等学校総合体育大会)で総合優勝。
- 1948年(昭和23) 学制改革に伴い、「磐田第一高等学校」となる。「エンシュウハグマ」の校章制定。陸上競技部、インターハイ(全国高校総合体育大会)学校対抗の部で総合優勝。以後、1952、1954、1972にも総合優勝。
- 1949年(昭和24) 「磐田南高等学校」と改称。男女共学となる。
- 1955年(昭和30) 見付中学校の校歌歌詞一部変更。新応援歌制定。
- 1956年(昭和31) 女子生徒制服カラー白線1本と決定(女子生徒の投票による結果)。
- 1962年(昭和37) 夜間定時制課程設置。文化祭・体育祭を合わせて、「はぐま祭」と制定。
- 1967年(昭和42) 昼間定時制課程設置(1978年募集停止)。
- 1970年(昭和45) 理数科設置。
- 1983年(昭和58) 「はぐま会館(生活館)」完成。
- 1984年(昭和59) 生物部、日本学生科学賞入選一等。テーマ:「生物による土壌形成の研究」以後、コアジサンヤトノボの生態に関する研究等で全国レベルの入賞多数。
- 1989年(平成元) 新プール竣工(1991年には、インターハイ水球競技を開催)。
- 1992年(平成4) 米国 カリフォルニア州マウンテンビュー高校と姉妹校協定締結。これまでに両校生徒と教職員計750名が相互訪問。
- 2003年(平成15) 文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール」の指定(2015年まで)。理科・数学のカリキュラム研究開発に取り組む。
- 2005年(平成17) 陸上部(川口直哉)、棒高跳び優勝2年連続(全国高校陸上競技大会)。
- 2008年(平成20) 地学部、日本学生科学賞入選一等。テーマ:「袋井市で発生した突風の原因」以後、高度発光現象、津波堆積物、成層圏ゲートネットサンドの研究等で全国レベルの入賞多数。
- 2010年(平成22) 地学部(川島崇志)、銀メダル(国際地学オリンピック)。
- 2011年(平成23) ビジュアル部(山田知咲)、最優秀賞(全国高総文祭写真実部門)。
- 2022年(令和4) 学校創立100周年。
- 2023年(令和5) 新校舎完成予定。

高「質実剛健」真剣至誠「文武両道」

人格の陶冶を教育目的に、高いところざしを持った人間性豊かな生徒の育成を目指す

魅力的な教育

理数教育の充実

論文にまとめます。研究発表の水準は高く、論文は学術論文の形式で作成される本格的なものです。なわ地学部、生物部は全国レベルの研究発表で連続して上位入賞を果たしています。

ICT活用で深い学びに誘う

「二人一対端末が整備され、授業では教師・生徒間の双方向で発信できる「ロイロノート」を活用するほか、情報の収集・整理・分析、発表資料作成など様々な場面でICTの活用は広まっています。

進路意識の向上を図る「ミニ大学」

二年生の秋には「ミニ大学」があります。全国の約30大学から講師を招聘し3日間、にわたり90分の模擬授業を受講します。物事をとらえる視点や考え方の多様性を学び視野を広げる機会となっています。

●多くの志願者を集める定時制課程

定時制課程は今年60周年を迎えます。これまでに1476人の卒業生を送り出し、その多くは地元企業で活躍しています。現在、一年生から四年生まで合わせて1200人を超える生徒が通っています。少人数での授業や中学校の学び直しに力を入れている。派遣社員をしながら学校

●新たな歴史を刻む新校舎が完成間近

令和5年2月末、新校舎が完成予定です。新校舎建設にあたり、国の特別史跡である遠江国分寺の寺域の一部に本校が位置していることを踏まえ、文化財との共存・調和を図りながら、誰もが愛着や誇りを持つ学校施設を設計しました。校舎には、充実した学校生活を営むことができる快適な教育環境が用意されています。生徒たちは、この新校舎で新たな歴史を刻んでいくこととなります。

なわ、多くの卒業生を送り出した現在の校舎は、令和5年夏以降撤去作業が計画されています。

学校行事に燃える生徒

はぐま祭(文化祭)

2500人余の市民が訪れる磐田南高校の一大イベントです。生徒会が中心となり、オープニングから盛り上がり、2日間の催しの最後には、感動の後夜祭が企画されています。三年生のHR展、文化部の成果発表の場等として様々な趣向を凝らしてお客様をもてなします。

体育大会

学年別クラス対抗で競い合います。100m走、200m走の個人競技、障害物リレー、綱引き、長縄跳び、HR対抗リレー等の団体競技があります。一番の見どころは東軍西軍に分かれての綱引き、小田原山の合戦です。

部活動等の実績～全国大会出場を中心として～(過去5年間)

- 陸上競技部:全国高等学校総合体育大会[以下:全国高校総体](2018~2022)/U18日本陸上競技選手権大会(2018、2019、2021、2022)
- 水泳部(水球):全日本ユース選手権(2018)、全日本ジュニア選手権(2019、2020)/全国JOCジュニアオリンピック(2021)/第77回国民体育大会 県選抜チーム(2022)
- 弓道部:全国高校総体(2018)
- ヨット:全国高校総体(2022-6位)
- フェンシング:全国高校総体(2022)
- 地学部:全国高等学校総合文化祭[以下:全国高総文祭](2018奨励賞、2020~2022)/日本地球惑星科学連合大会(2018、2019、2021奨励賞、2022奨励賞)
- 生物部:全国高総文祭(2022)/京都大学ポスターセッション(2021優秀賞[全国26校中3校])、日本進化学会大会(2022優秀賞)
- 科学技術部:SupercomputingContest出場(2018、2020、2021[本選出場])
- ビジュアル部:全国高総文祭(2018~2022)[19年連続出場]
- 囲碁将棋部:全国高総文祭(2018将棋、2021囲碁)
- 文学部(かるた):全国高総文祭 県選抜チーム(2022準優勝)
- 美術部:全国高総文祭(2019)

卒業生の進路状況

国公立	私立	進学準備
東海大学8(6) / 京都大学8(1) / 北海道大学7(3) / 東北大学14(6) / 名古屋大学37(15) / 大阪大学10(2) / 九州大学6(2) / 一橋大学2 / 筑波大学7(2) / 千葉大学23(3) / 横浜国立大学6(1) / 神戸大学4 / 金沢大学22(5) / 広島大学10(2) / 静岡大学110(11) / 浜松医科大学20(7) / 静岡県立大学53(14)	早稲田大学37(9) / 慶應義塾大学26(5) / 上智大学5(2) / 東京理科大学67(32) / 明治大学77(11) / 立教大学23 / 中央大学51(6) / 同志社大学74(14) / 立命館大学244(28)	

生徒はコロナ禍での休業や部活動の大会中止など、イレギュラーな高校生活を乗り越えて進路実現を果たしました。磐南生の「底力」が発揮された結果です。